

# 右京区民の皆さまへのお約束

(平成17年度 右京区運営方針)



右京区役所

# 目 次

1	はじめに -----	1
2	基本的な考え方 -----	1
3	右京区を取り巻く現状 -----	2
4	右京区のまちづくりの目標 -----	4
	＜ 暮らし・ふれあい・やすらぎ 右京 ＞	
	① 支え合うやすらぎのまち	
	② 誰もが主役・生きがいのまち	
	③ 安心、安全、快適なまち	
	＜ にぎわい・もてなし・はなやぎ 右京 ＞	
	① 気軽に出かけられるまち	
	② 歴史と文化、自然環境を生かしたまち	
	③ 映画とものづくり、個性あふれるまち	
	＜ 暮らしのやすらぎ・まちのはなやぎ 右京・京北 ＞	
5	平成17年度のまちづくり方針と主な施策・事業 -----	7
	＜ 暮らし・ふれあい・やすらぎ 右京 ＞	
	(1) 区民が安心して子育てができ、安らぎをもって暮らせるまちづくり	
	(2) 区民参加による安心安全で魅力ある地域づくりとその拠点としての 区役所機能の強化	
	＜ にぎわい・もてなし・はなやぎ 右京 ＞	
	(3) 区民が快適性・利便性を実感できる都市基盤の整備	
	(4) 区民が誇る豊かな自然環境と歴史・文化資源を生かしたまちづくり	
	＜ 暮らしのやすらぎ・まちのはなやぎ 右京・京北 ＞	
	(5) 区民となられた京北地域住民との一体化の推進	
6	「区」民の「役」に立つ「区役所」を目指して -----	11
	(1) 右京区役所経営会議の運営	
	(2) 右京区行政推進会議の運営	
	(3) プラスアクション21検討委員会の開催	
	(4) 区内各種住民団体などとの連携	

# 右京区民の皆さまへのお約束

(平成17年度 右京区運営方針)

## 1 はじめに

右京区役所では、平成17年度から新たに「右京区民の皆さまへのお約束（平成17年度 右京区運営方針）」を策定し、右京区のまちづくりを推進していくこととしました。

これは、右京区のまちづくりの基本的な考え方を始め、目標やその実現に向けた施策・事業などを公表することにより、右京区役所の使命と責任を明らかにし、区民の皆さまと行政との「協働のまちづくり」をより積極的、かつ、着実に進めていくために策定したものであり、まさに区民の皆さまへの「お約束」です。

この「お約束」は、経営感覚とスピード感のある市政運営に向けて、平成16年4月に京都市が定めた「新京都市都市経営戦略」（※注1）の取組の一つとして、区長のマネジメントにより策定したもので、今後、区民の皆さまのご意見・ご提案をお聞きしながら、毎年公表していきます。

右京区役所では、この「お約束」の達成に向け、区長を先頭に職員一丸となって、取組を進めていきます。



右京区長 佐貫 眞一

## 2 基本的な考え方

本格的な地方分権時代を迎え、京都市では、市民にとって最も身近な行政機関である区役所において、地域の個性を生かしたまちづくりを進めるため、区基本計画の策定や大区役所制の推進など、地域の総合行政機関として区役所の機能強化に取り組んできました。

しかしながら、少子高齢化の進展、環境問題の深刻化などに伴う市民の暮らしの変化やまちづくり活動の多様化といった、区役所を取り巻く社会情勢の変化により、今後は、市民サービスの質的な向上や市民との協働による区基本計画のより一層の推進など、区の個性を生かした魅力ある地域づくりの拠点としての機能強化が求められています。

こうした状況を踏まえ、右京区役所では、個性あふれるまちづくりを進め、また、区民サービスの向上を図る「区政改革」の一環として、区民の皆さまに満足していただけるきめ細かな行政サービスの提供に取り組んでいきます。

そして、新京都市都市経営戦略に基づく「基本計画第2次推進プラン」(\*注2)、「市政改革実行プラン」(\*注3)、「財政健全化プラン」(\*注4)を踏まえ、右京区基本計



▲ 右京区まちづくりフォーラム

画「右京来夢(らいむ)らいと計画21」が目標とする「人と自然と歴史が織りなす明るい未来」の実現に向け、同計画の推進組織である「右京区まちづくり円卓会議」に3つの検討部会(都市基盤整備、福祉のまちづくり及び産業観光文化)を設けて議論を重ねており、今後とも区民と行政とのパートナーシップによるまちづくりを一層推進します。



更に、京北地域の右京区編入に伴い、同地域とその隣接地域を対象としたまちづくりプラン「京都市・京北町合併建設計画」の着実な推進を図るとともに、新たに区民となられた京北地域住民と右京区民との一層の親交を深める環境づくりに取り組みます。

### 3 右京区を取り巻く現状 (\* 表中の○数字は11行政区のうちの順位)



右京区は、旧京北町域の編入により市域の約35%を占めるとともに、人口も20万人を超える市内最大規模の行政区となりました。区域の8割以上を森林が占め、緑あふれる山々と清らかな水の流れなど、自然環境に恵まれた区です。

◀ 京北・宇津峡

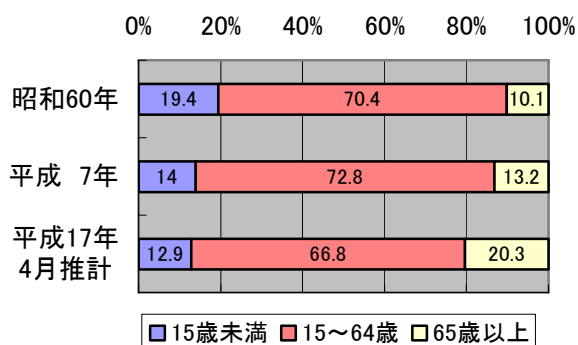
区 分	京 都 市	右 京 区	
人 口	1,466,418 人	201,357 人 (13.7%)	<6,229 人> ②
男 性	699,382 人	96,098 人 (13.7%)	<2,985 人> ②
女 性	767,036 人	105,259 人 (13.7%)	<3,244 人> ②
世 帯 数	647,984 世帯	85,654 世帯(13.2%)	<2,108 世帯> ②
面 積	827.90 k m <sup>2</sup>	291.95 k m <sup>2</sup> (35.3%)	<217.68 k m <sup>2</sup> > ①

\* < >内は京北地域の数値。平成17年4月1日現在推計



年齢3区分別人口でみると、15歳未満の年少人口は、12.9%と全市平均（12.4%）を上回り、65歳以上の老年人口は、全市平均と同じ20.3%であるなど、市内ではどちらかという若い年齢構成の区と言えますが、近年の推移をみると少子高齢化が急速に進展しています。

右京区の年齢3区分別人口比率



また、区内には、嵯峨，嵐山，高雄といった全国的に名高い観光地を有し、国宝第1号となった太秦・広隆寺の弥勒菩薩像や世界文化遺産に登録された仁和寺，高山寺，天龍寺及び龍安寺，そして国の天然記念物の九重桜で知られる常照皇寺など数多くの優れた文化財に恵まれています。



▲ 渡月橋と愛宕山



常照皇寺 ▶

文化財件数（平成15年度末）（重要文化財の件数には、国宝の件数を含む。）

区 分	京 都 市	右 京 区
国 宝	総数 211 件	総数 57 件 (27.0%) ①
	建造物 40 件	建造物 3 件 (7.5%) ⑦
	美術工芸品 171 件	美術工芸品 54 件 (31.6%) ①
重要文化財	総数 1,769 件	総数 437 件 (24.7%) ①
	建造物 198 件	建造物 24 件 (12.1%) ④
	美術工芸品 1,571 件	美術工芸品 413 件 (26.3%) ①
史跡，名勝，天然記念物	総数 88 件	総数 22 件 (25.0%) ①



産業面では、市街地や山間部での農業、「北山磨き丸太」で有名な林業，製造品出荷額が市内トップクラスの工業，太秦地区を中心とした映画産業など，特徴ある産業が営まれており，「ものづくりのまち」としての顔も有しています。

◀ 市街地での農業

### 農業（平成12年2月1日現在，農林業センサス）

区 分	京 都 市	右 京 区
農家数	4,961 戸	1,399 戸（28.2%）①
経営耕地面積	275,651 a	81,544 a（29.6%）①
田	208,335 a	65,771 a（31.6%）①
畑	36,568 a	5,252 a（14.4%）③
樹園地	30,748 a	10,521 a（34.2%）②

### 林業（平成12年2月1日現在，農林業センサス）

区 分	京 都 市	右 京 区
林家数	2,928 戸	808 戸（27.6%）①
林野面積	61,133 ha	25,380ha（41.5%）①



### 工業（平成15年12月31日現在，平成15年工業統計調査）

#### ▲ 北山杉

区 分	京 都 市	右 京 区
製造業事業所数	3,620 事業所	490 事業所（13.5%）②
従 業 員 数	75,079 人	15,582 人（20.8%）②
製造品出荷額等	2,138,664 百万円	526,777 百万円（24.6%）②

更に，右京区は，道路や公園などの都市基盤の整備が比較的遅れており，区民が安全で快適に暮らせる環境づくりが急務となっています。

### 市街化区域面積に対する道路面積率 （平成16年。京北地域を含まない）

京 都 市	右 京 区
14.9%	12.89% ⑩

### 公園数及び面積等（平成15年度末。京北地域を含まない）

区 分	京 都 市	右 京 区
総数	776 カ所	61 カ所（7.9%）⑥
面積	6,625,303 m <sup>2</sup>	390,016 m <sup>2</sup> （5.9%）⑥
区民1人当たり公園面積	4.53 m <sup>2</sup>	2.00 m <sup>2</sup> （44.2%）⑨

## 4 右京区のまちづくりの目標

右京区を取り巻く現状を踏まえて，右京区役所では，区基本計画「右京来夢（らいむ）らいと計画21」が理想とする「人と自然と歴史が織りなす明るい未来」を実現するため，まちづくりの目標を次のとおり定め，その具体化に向けた取組を進めます。

### ①支え合うやすらぎのまち

子どももお年寄りも、男性も女性も、障害のある人もない人も、すべての区民が生きがいを持ち、安心して生涯を過ごすことのできるまちづくりを目指します。そのためには、お互いの生活や価値観を認め合い、人権を尊重する社会環境を整えることが大切であり、地域における住民どうしの支え合い、安心して住み続けることのできる地域の仕組みと、人のつながりのある地域づくりを進めます。

### ②誰もが主役・生きがいのまち

右京区の誇るべき財産である「伝統・歴史的資源」や「豊かな自然環境」は、責任を持って次世代の区民に伝えていくべきもの



のです。これらの財産を支える人的資源とともに、地域での協働や文化・スポーツの振興

などを通して、区民の誰もが主役と実感できるまちの実現を目指します。また、良好な環境を引き継ぐため、身近な地域での地球環境保全に向けた取組を進めます。



▲ グラウンドゴルフ

◀ 廃食用油回収の取組

### ③安心、安全、快適なまち

区民が安心して豊かに暮らせるよう、災害に強く、安全で快適なまちづくりを進めます。そのため、地域の特性や課題を踏まえながら、防災や福祉、交通安全、地域のまちづくり活動など、様々な分野における区民の活動や本市の施策を連携させながら、うるおいのある生活環境づくりを進めます。



▲ 地域の子どもは地域で守る  
(下校時の見守りボランティア)



### ①気軽に出かけられるまち

区民が安心して快適に暮らせるよう、安全に利用できる利便性の高い公共交通網と幹線道路網といった、根幹的都市基盤の整備を進めます。

◀ 区民の貴重な足「嵐電」



また、区民が行政サービスをはじめとする様々なサービスを楽しむまちとするため、公共交通機関による往来のしやすい場所に右京区の拠点地区を整備します。

葛野大路 ▶



## ②歴史と文化，自然環境を生かしたまち



▲ れんげを摘む会

右京区の歴史・文化資源，自然環境は区民全体が誇る財産であり，区民の生活を豊かにするとともに，多くの観光客が訪れる場所となっています。

そこで，右京区のをじっくりと味わうことができるよう，こうした大切な個性を伸ばしていくまちづくりと，まちの活力を高める観光振興を目指します。

## ③映画とものづくり，個性あふれるまち

右京区には太秦地区を中心とした映画産業の集積があり，日本映画のふるさとでもあります。また，区内には製造品出荷額が多い工業，地域密着の商業，市街地や山間部での農業，林業など，特徴ある産業が活発に営まれており，これらの特徴ある右京区ならではの資源を生かし，「映画とものづくりのまち 右京」として，個性あるまちづくりを進めます。



▲ 東映太秦映画村での撮影風景

## 暮らしのやすらぎ・まちのはなやぎ 右京・京北

平成17年4月1日の旧京北町の京都市との合併，右京区への編入を，右京区にとっての更なる飛躍の契機とします。また，「京都市・京北町合併建設計画」に基づく，「やすらぎのある暮らし」と「はなやぎのあるまち」を目指して，新たに区民となられた京北地域の方々に「合併してよかった」と実感していただけるまちづくりを進めます。



▲ 京北合同庁舎



## 5 平成17年度のまちづくり方針と主な施策・事業

右京区を取り巻く現状とまちづくりの目標に基づき、平成17年度のまちづくり方針と主な施策・事業を次のとおり定めます。

### 暮らし・ふれあい・やすらぎ 右京

#### (1) 区民が安心して子育てができ、安らぎをもって暮らせるまちづくり

右京区では、少子長寿化が急速に進行していることから、すべての区民が安心して生涯を過ごすことのできるまちに向けて、社会全体の力で子どもの成長を支える「子育て支援社会」の実現と、誰もが安らぎをもって暮らせる福祉のまちづくりを目指します。

##### ○地域子育て支援ステーションの充実と子育て支援ネットワークづくり

ステーション事業を充実し、子育て中の区民が気軽に利用できる地域の拠点づくりを進めます。

また、「子育てサロン」の充実など、地域の子育て支援ネットワークの構築を目指します。

##### ○区役所子ども支援センターホームページの開設

子育て支援情報の発信機能を高めるため、ホームページを開設します。



▲ 親子リズム体操

##### ○すくすく育児・サポート教室の開催、育児支援家庭訪問事業

保護者の育児不安軽減のため、保健師などが地域に出向き、情報、技術の提供や個別相談を行います。また、乳幼児健康診断の未受診者などを対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、子育てについての助言などを行います。

##### ○右京こころのふれあいネットワークの取組

精神の病気や障害についての理解を深めるシンポジウムの開催などによって、障害のある区民もない区民も、共に地域社会の一員として暮らせるまちづくりを進めます。

##### ○人権文化の構築に向けた取組

誰もが互いの基本的人権を尊重する人権文化の構築を目指した取組を推進します。

##### ○西京極保育園の増築

保育所入所待機児童の解消に向け、増築を行います。定員90人→120人

##### ○葛野児童館（仮称）などの整備

葛野小学校内に、老人デイサービスセンター、在宅介護支援センターと併設して整備します。平成17年度末に開所の予定です。



▲ 児童館まつり

○梅津児童館学童クラブ分室（仮称）の整備

学童保育待機児童の解消に向け、梅津北小学校に学童クラブ分室を整備します。

○特別養護老人ホーム「健光園花園（仮称）」の整備

介護サービスの基盤整備のため、花園鷹司町に特別養護老人ホームを整備します。  
\*定員70人 \*うち40人分は「健光園特別養護老人ホーム」の大部屋解消分

**（２）区民参加による安心安全で魅力ある地域づくりとその拠点としての区役所機能の強化**

区民にとって安心安全で快適なまちを目指し、区民の方々と行政が互いに協力しながら、右京区の個性を生かした「パートナーシップ型のまちづくり」に取り組みます。

○自主防災組織と防災関係機関との連携による  
防災対策の推進

自主防災組織をはじめとする地域住民とのパートナーシップのもと、警戒避難体制の整備などに取り組みます。

○右京区総合防災訓練の実施（１２月）

西京極及び葛野学区自主防災会を中心とした区民と連携した防災訓練を実施します。

○右京区まちづくり支援制度の実施

区民が取り組むまちづくり活動に対し、助成金の交付や広報による支援を行います。

○区民ふれあい事業の実施

地域コミュニティの活性化や多様な世代の区民の出会い、ふれあいの場として実施します。

・右京区民ふれあいフェスティバル2005  
の開催（１１月）

・右京区民文化フェスティバル2005  
の開催（１２月）

・右京区民美術展の開催（平成18年2月）

○地域の安心安全ネットワークの形成

地域住民と関係機関が一体となって、幅広い地域の安心・安全確保に取り組む横断的、総合的なネットワークを構築する取組を実施します。

○右京区総合庁舎建設に向けた取組

区民参加ワークショップの成果をもとに、屋上緑化や自然エネルギーの活用など、環境に配慮した庁舎とするとともに、区民が気軽に集える交流の場づくりを目指します。



▲ 防災を考えるワークショップ



▲ 区民ふれあいフェスティバル



右京区総合庁舎等施設検討ワークショップ ▲

### ○右京区役所における「ISO14001」認証の取得

区役所が率先して環境負荷の軽減を促進するため、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証取得を目指します。

また、今年4月に施行した「京都市温暖化対策条例」に基づき、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量の抑制に、区内の大規模事業所として取り組みます。

## にぎわい・もてなし・はなやぎ 右京

### (3) 区民が快適性・利便性を実感できる都市基盤の整備

右京区は、道路や公園などの都市基盤の整備が比較的遅れていることから、区民が気軽に出かけられるまちを目指し、交通利便性の向上など、都市基盤の整備に取り組みます。

#### ○太秦安井公園（仮称）の整備

右京ふれあい文化会館に隣接する「イマジカ跡地」に、市民の身近なレクリエーションの場や地域防災の拠点となる公園を整備します。平成17年度は埋蔵文化財調査や設計を実施し、平成18年度に整備着手の予定です。

#### ○嵯峨嵐山地区交通バリアフリー基本構想の策定

「京都市交通バリアフリー全体構想」の重点整備地区である嵯峨嵐山地区において、バリアフリー化推進のための基本構想を策定します。

#### ○地下鉄東西線（二条～天神川）の延伸と

天神川駅（仮称）周辺の整備

##### ・地下鉄東西線整備事業

平成19年度の開通を目指して、駅部分の構築工事やトンネルの掘進工事を進めます。

##### ・天神川駅（仮称）周辺整備事業

右京区総合庁舎、右京地域体育館、右京中央図書館（仮称）などが入る再開発施設の建築工事に着手します。



▲ 地下鉄東西線車両



▲ 右京区総合庁舎などが入る再開発施設

#### ○JR山陰本線の複線高架化

花園～嵯峨嵐山駅間の複線高架化、嵯峨嵐山駅の駅舎の橋上化などを実施します。平成17年度は埋蔵文化財調査、工事などを実施します。平成20年度に完成の予定です。

#### ○街路基本調査

都市計画道路の葛野大路（丸太町通～太子道）、久世梅津北野線（桂川橋りょう）の整備に向けた調査を実施します。



#### （４）区民が誇る豊かな自然環境と歴史・文化資源を生かしたまちづくり

右京区は、国宝や重要文化財などの歴史・文化資源や豊かな自然環境に恵まれており、これらの財産を生かしたまちづくりとともに、良好な環境を未来に引き継ぐ取組を進めます。

- 右京区民オリエンテーリング クリーン大作戦の実施（１１月）

区内の景勝地を歩いて巡り、区民の健康増進を図るとともに、まちの美化活動に取り組めます。

- 京都・花灯路「あらしやま さがの事業（仮称）」  
嵐山・嵯峨地域の観光活性化のため、１２月中～下旬に「京都・花灯路」事業を実施します。

- 嵐山等の観光地交通対策

秋の観光シーズンに、自動車流入抑制策として、広域的な観光用パーク・アンド・ライドや臨時交通規制などに引き続き取り組みます。

- 越畑地区の観光農村育成事業

冬季の誘客対策として、山菜などの新規特産品目の開発を進めます。

- 古都保存区域内の施設整備・維持管理

小倉山地区の散策路整備を行います。



▲ 区民オリエンテーリング  
クリーン大作戦

### 暮らしのやすらぎ・まちのはなやぎ 右京・京北

#### （５）区民となられた京北地域住民との一体化の推進

京都市と旧京北町域の一体化を速やかに推進し、新たに区民となられた京北地域の方々に「合併してよかった」と思っていただけの環境づくりに取り組みます。

- 「合併記念の森」の創設

里山の森林と市民を結び付ける多様な森づくりを目指すため、京北地域に「合併記念の森」を創設します。平成１７年度は計画を策定します。

- 国道１６２号（栗尾バイパス）の道路改良

市内と京北地域を結ぶ国道１６２号の栗尾峠区間の道路改良を行います。平成１７年度は測量や調査、設計を実施します。

- 国道１６２号（川東工区）の道路整備

第１工区の平成１９年度完成に向け、橋りょう工事、トンネル工事を進めます。



▲ 国道１６２号（川東工区）道路整備

## 6 「区」民の「役」に立つ「区役所」を目指して

区民の目線に立った満足度の高い行政サービスを提供するとともに、区民の方々にとって最も身近な行政機関である区役所の、より一層の利便性の向上を目指して、「良質なサービスを提供する区役所づくり」に向けた次のような取組を進めます。



右京区総合庁舎 ▶

### (1) 右京区役所経営会議の運営

区民とのパートナーシップにより区基本計画「右京来夢（らいむ）らいと計画21」を推進するとともに、区民にとって満足度の高い行政サービスを効率的に提供する区役所運営を目指すため、区役所の課長級以上職員で構成する「右京区役所経営会議（議長：右京区長）」を設置し、「右京来夢（らいむ）らいと計画21」や「右京区運営方針」の具体化について、区役所経営の観点から協議・調整を行います。

### (2) 右京区行政推進会議の運営

区役所や事業所が、互いに連携し、情報を共有し、横断的な連絡調整と協議を行うことにより、右京区行政の総合的な推進を図るため、区内の行政機関で構成する「右京区行政推進会議（議長：右京区長）」を設置し、「右京来夢（らいむ）らいと計画21」や「右京区運営方針」の具体化、区内の課題解決などに当たって、総合的なまちづくりを進めるための協議・調整を行います。

### (3) プラスアクション21検討委員会の開催

区役所職員全員がプラス思考で、継続的な業務改善に取り組むため、各課の所属職員から成る「プラスアクション21検討委員会」において、平成16年度に実施した「市民窓口アンケート」の調査結果をもとに、具体的な目標の設定や改善業務の内容などの検討を、「右京区役所経営会議」と連携を図りながら行います。

### (4) 区内各種住民団体などとの連携

区民の幅広い声を区行政の推進に生かすことができるよう、市政協力委員連絡協議会や区基本計画推進組織である「右京区まちづくり円卓会議」など、区民が主体となり活動されている各種団体等との一層緊密な連絡・連携を図ります。

## ＜用語の解説＞

（注１）新京都市都市経営戦略

世界の中でも存在感のある京都の実現を目指し、新たな都市経営戦略を推進するために平成１６年４月に策定した基本方針。都市経営の視点に立った「政策推進」、「市政改革」、「財政健全化」の一体的かつ戦略的な推進、トップマネジメントの強化と組織内分権の推進により、「経営感覚とスピード感のある市政運営」を実現することを目標とする。これにより、「時代の要請に即応する政策の推進」と「持続可能な行財政運営の確立」を図り、「安らぎのある暮らし」と「華やぎのあるまち」の実現を目指す京都市基本計画を着実に推進する。

（注２）基本計画第２次推進プラン

京都市基本計画の計画期間（平成１３年から平成２２年）の前半５年間に重点的に取り組む２０３項目の施策・事業を掲げた「安らぎ 華やぎ 京都２１推進プラン」（第１次推進プラン）が、策定後３年を経過して相当の進捗が図れたことなどから、社会経済をはじめとする諸情勢の変化に伴う新たな政策課題に対応するため、平成１６年７月に策定したプラン。新京都市都市経営戦略のもと、平成１６年度から２０年度までの５年間に実施する具体的な施策・事業を掲げている。

（注３）市政改革実行プラン

京都新世紀市政改革大綱（取組期間：平成１３～１７年度）の策定後３年を経過して、法改正や市税収入の減、地方分権改革の進展など、新たな環境の変化が生じ、京都市基本計画に掲げた政策、施策を着実に推進していくためには更なる改革が必要であることから、平成１６年７月に新京都市都市経営戦略に基いて策定したプラン。

（注４）財政健全化プラン

新京都市都市経営戦略に基づき、市政改革実行プランとの緊密な連携のもと、基本計画第２次推進プランの着実な推進と、安定的で持続可能な財政の確立を目指して、平成１６年７月に策定したプラン。

「右京区民の皆さまへのお約束（平成１７年度 右京区運営方針）」についての区民の皆さまからのご意見・ご提案をお待ちしております。

右京区役所区民部総務課

〒６１６－８５１１ 右京区太秦蜂岡町３１番地

電話（０７５）８６１－１１０１（代表）

FAX（０７５）８７２－５０４８

平成１７年５月発行